

平成10年度選定 第3期

きむら やす お
木村 康夫

表具師 / 西区

●昭和10年横浜市出身 ●木村経師店会長
●1級表装技能士、職業訓練指導員、ものづくりマイスター（厚生労働省） ●神奈川県表具経師内装協同組合副理事長、技能検定委員などを歴任



〈主な受賞歴〉昭和50年 第8回美術表装展 表展大賞受賞（神奈川県表具経師組合連合会） / 昭和62年神奈川県卓越技能者表彰受賞（神奈川県知事） / 昭和62年 表彰受賞（全国表具経師内装組合連合会会長） / 平成10年 横浜市技能功労者表彰受賞（横浜市長）

〈プロフィール〉横浜生まれ横浜育ち。明治41年創業の木村経師店3代目として、高校卒業後に表具師の道に進む。見習いとして10年間の修業を経て、27歳から社員として勤める。東京西大井の帰命山養正院如来寺宝 紙本着色仏涅槃図（長谷川等言作）の修復に携わるほか、三渓園や美術館、博物館の所蔵品など多数を手掛ける。



マイスターの技

表具の伝統的な技法を正確に習得し精通しており、一般的なふすま、屏風、障子張りはもとより、表装匠として掛け軸や古書画の修復という特殊な作業において、特に優れた技能を有しています。

書画の魅力を最大限に引き出す表装を

昔はふすまや障子張りなどが中心でしたが、最近は、主に掛け軸の修復の仕事が多く、「表装がいいと作品の価値が上がる。主役である書画の魅力をどうしたら最大限に引き出せるかを考えて仕事をしています」、「どんな用途か、意匠の好みや予算を聞いて、センス良く仕上げていきます。美術館や展覧会などに出かけて、センスを磨くようにしています」と木村さん。

表具の仕事は、手間も根気もいる仕事だけに、作品が「仕上がっていく」ことを楽しんで仕事をしているそうです。「これからも、古書画の修復など手掛けていきたいと思っています。まだまだ一生勉強です」とその情熱を語ります。

神奈川県表具経師内装協同組合青年部の設立に関わるほか、長年、神奈川県立鶴見高等職業技術校の非常勤講師（25年勤続）を務めるなど後進の指導育成に尽力しました。

ここでマイスターの
技に出会える!

株式会社 木村経師店
所在地：西区戸部町 4-152 TEL: 045-231-5586
FAX: 045-241-3751